

## 4年次家庭科（MYP 5 Design）【家庭基礎：2単位】

### 科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

### 目標および評価基準

| MYP 評価観点  |  |
|-----------|--|
| A：探究と分析   | i. 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。   |
|           | ii. ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。                                |
|           | iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること  |
|           | iv. 先行研究の分析を要約した、詳細なデザインブリーフを作成すること  |
| B：アイデアの発展 | i. ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること   |
|           | ii. 他者が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること  |
|           | iii. 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること  |
|           | iv. 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること                                    |
| C：課題解決    | i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること |
|           | ii. ソリューションの製作に当たり、優れた技術的スキルを示すこと  |
|           | iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること  |
|           | iv. ソリューションの製作に当たり、選択したデザインや計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること                             |
| D：評価      | i. ソリューションの効果を測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法をデザインすること                                    |
|           | ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、批判的に評価すること  |
|           | iii. ソリューションをどのように改善できるかを説明すること  |
|           | iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること   |

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザイン n の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

|         |       |      |       |
|---------|-------|------|-------|
| 適合      | 協働    | 人間工学 | 評価    |
| 形       | 機能    | 革新   | 発明    |
| 市場とトレンド | ものの見方 | リソース | 持続可能性 |

※目標と評価規準は MYP Design5 のものを使用する。

年間計画

| 時期             | ユニット | 1. 重要概念<br>2. グローバルな文脈<br>3. ATL                                     | 学習内容・教材等  | 総合的評価課題のMYP評価観点<br>(【 】内)<br>および課題概要と評価方法   | 1. 学習指導要領<br>観点との対応<br>2. 道徳内容項目<br>とのつながり  |
|----------------|------|--|---|---|---|
| 前期<br>(4月～9月)  | 2    | 1. コミュニティ<br>2. 個人的表現と文化的表現<br>3. リサーチスキル、協働スキル、コミュニケーションスキル、整理整頓スキル | <p>【オリエンテーション～18歳成人に向けて・自立とは何か】<br/>【究極の一皿～食】<br/>・食の安全（加工食品、食品添加物、賞味期限など）<br/>・健康的な食（食品の栄養的特徴、必要な栄養、献立の作成、和食文化）<br/>・調理技術を身につける（調理実習）<br/>・調理実験<br/>【学習指導要領 A「人の一生と家族・家庭及び福祉」】<br/>(1) 生涯の生活設計<br/>(2) 青年期の自立と家族・家庭<br/>(5) 共生社会と福祉<br/>【学習指導要領 B「衣食住の生活の自立と設計」】<br/>(1) 食生活と健康<br/>【学習指導要領 D「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ」】</p> <p>教材<br/>・大修館書店 Creative Living<br/>・資料集、視聴覚教材<br/>・ファストフード店、コンビニエンスストア HP</p>  | <p>「究極の一皿～献立の作成」<br/>【A】探究と分析（ワークシート）<br/>対象について調査し、情報を適切に収集・整理できる（個人）<br/>【B】アイデアの発展（ワークシート）<br/>対象の課題を設定し考察をもとに適した食材の特徴や調理方法をまとめる力を身につけている（個人）<br/>【C】課題解決（スライド）<br/>調査、考察をもとに、課題に適したメニューを考案し、実習できる（グループ）<br/>【D】評価（スライド）<br/>改善案の作成し、よりよい献立にしようとしている（グループ）</p>                                       | <p>1. 学習指導要領<br/>①知識・技能<br/>-A、C<br/>②思考・判断・表現<br/>-B、C<br/>③主体的に学習に取り組む態度<br/>-D</p> |
| 後期<br>(10月～3月) | 4    | 1. システム<br>2. 空間的・時間的位置づけ<br>3. 協働スキル、批判的思考スキル、転移スキル                 | <p>【18歳成人に向けて・自立とは何かⅡ】<br/>【一人暮らしをしてみよう～住・経済】<br/>・家庭経済の仕組みを理解する<br/>・契約の重要性を理解する<br/>・問題商法とその対策を理解する<br/>・保険の仕組みや種類、資産運用の方法を理解する<br/>・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する<br/>・住居の機能性や快適性について考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫できる<br/>【学習指導要領】<br/>A「人の一生と家族・家庭及び福祉」<br/>(3) 子供の生活と保育<br/>(4) 高齢期の生活と福祉<br/>(5) 共生社会と福祉<br/>B「衣食住の生活の自立と設計」<br/>(3) 住生活と住環境<br/>C「持続可能な消費生活・環境」<br/>(1) 生活における経済の計画<br/>(2) 消費行動と意思決定<br/>(3) 持続可能なライフスタイルと環境</p> <p>教材<br/>・大修館書店 Creative Living、資料集<br/>・住居模型、車椅子、高齢者体験キットなど</p> | <p>「一生を見通して選択肢を知ろう」<br/>【A】探究と分析(スライド)<br/>家族年表からさまざまな選択肢を考え、調査分析し根拠を持ってメリットデメリットを説明できる（グループ）<br/>【D】評価(テスト)<br/>18歳成人にあたって、消費生活において必要な知識が身につけている</p> <p>「一人暮らしの経済計画をたてる」<br/>【B】アイデアの発展(ワークシート)<br/>快適な住まいの条件を理解し、一人暮らしの住まいを選択し、正当化している（個人）<br/>【C】課題解決(ワークシート)<br/>資産をどのように活用するか計画を立て、正当化している（個人）</p> | <p>1. 学習指導要領<br/>①知識・技能<br/>-A、D<br/>②思考・判断・表現<br/>-B<br/>③主体的に学習に取り組む態度<br/>-C、D</p> |

|    |   |  |  |  |   |
|----|---|--|--|--|---|
|    | 6 | 1. 美しさ<br>2. 科学技術の革新<br>3. 情動スキル、転移スキル | 【美しさとは何か～衣】<br>・快適な衣生活とはなにか<br>・洗剤の仕組み（実験）<br>・衣類の補修（実習）<br>・和装と洋装の違いと現代生活（実習）<br>【学習指導要領】<br>B「衣食住の生活の自立と設計<br>（2）衣生活と健康<br>教材<br>・大修館書店 Creative Living<br>・布、裁縫道具<br>・洗剤、ブラックライト<br>・着物一式、折り紙など | 「基礎縫い」<br>【C】課題解決<br>3種の基礎縫いとボタン付けの方法を理解して、実践できる（基礎縫い練習・試験）<br>よりよい実践に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしている（プリント） | 1. 学習指導要領<br>①知識・技能<br>-C<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>-C |
| EX |   |  | ・災害時を想定した調理実習<br>・ホームプロジェクトの実践発表   |  |   |